



研究部会報告

● 評価の OR ●

・第 14 回 学生大会

日 時：1 月 28 日 (土) 11:00~16:30

出席者：26 名

場 所：政策研究大学院大学 (港区六本木)

テーマと講師：

- (0)「Decomposing Capacity Utilization: An Application to Banks in India」
Biresh K Sahoo (Amrita School of Business, India)
- (1)「AHP における Saaty 整合度 CI の持つ意味についての考察」 稲嶺和哉 (日大生産工)
- (2)「AHP ウェイト推定法における最適な一般化平均」
後藤 格 (日大生産工)
- (3)「情報セキュリティへの AHP の適用」
荒井良太 (静岡大学)
- (4)「ANP の無反応現象に対する処理法の提案」
市川正人 (静岡大学)
- (5)「行列バランシン問題と相互評価法」
田村亮 (静岡大学)
- (6)「非線型方程式で表されるシステムに関する研究」
川口博子 (日大生産工)
- (7)「ラッセルモデルに対する分解型アルゴリズムの開発」
小林洋介 (静岡大学)
- (8)「DEA を用いた国有林野事業の効率性評価について」
谷 秀治 (政策研究大学院大学)
- (9)「首都高速の合流部における車両の合流効率性の DEA による評価」
小林雅彦 (政策研究大学院大学)
- (10)「市町村ベンチマーキングへの DEA 適用について」
古尾谷直樹 (政策研究大学院大学)

● OR/MS とシステムマネジメント ●

日 時：2 月 18 日 (土) 13:30~16:30

出席者：20 名

場 所：東京工業大学百年記念館・第 1 会議室

テーマと講師：

- (1)「被災地における消防団の災害対応活動」

六十里繁 (千葉商科大学大学院)

概 要：被災地における消防団の災害対応活動の現状について、2004 年に発生した新潟県中越地震及び新潟豪雨洪水災害のケースを中心に報告があり、ケースから得られる経営マネジメントへの示唆を含め、参加者の間で活発な意見交換が行われた。

- (2)「組織がもつ知識を前提とした物語作成支援システムの開発～組織知能工学からのアプローチ」

田中宏和 (神奈川工科大学・教授)

概 要：経営における「暗黙知」の表現手段として、CG を利用したシステムによる方法が提案され、現実の企業活動におけるその有用性について、参加者の間で活発な議論が行われた。

● 経営・教育の OR ●

・第 4 回

日 時：2 月 24 日 (金) 17:00~18:45

出席者：8 名

場 所：大阪駅前第 2 ビル 6 階 梅田サテライト

テーマと講師：

- (1)「社会人大学院の現状と課題—大阪市立大学大学院創造都市研究科を事例として—」

松田貴典 (大阪市立大学大学院)

概 要：都市における競争激化となりつつある「社会人大学院の現状と課題」をテーマに、社会人大学の開設上の問題や学生の意欲や満足度に関する調査結果などについて解説があった。そして、特色のある教育方法についても説明された。さらに研究科の運営方法や学生の募集方法などについても詳説された。

会 合 記 録

3 月 2 日 (木)	研究普及委員会	9 名
3 月 7 日 (火)	理事会	17 名
3 月 14 日 (火)	論文誌編集委員会	15 名
	研究普及委員会	25 名
3 月 16 日 (木)	機関誌編集委員会	6 名